

●木津川希少種生育調査管理業務

木津川での除草作業面積は 16000 m² 35 ヶ所です。これまで年間 2 回の除草作業を実施してきました。一部は手刈りで行わなければならない所も沢山あって、なかなか大変です。希少種の生えていない部分はハンマーモアの自走式草刈り機を使っています。これは業者が使用している 600 万円のものではなくて、自走はするのですが運転操作はついて歩いてしなくてはならないので、斜面での使用は非常に気を使わなくてはなりません。

斜面ですと燃料タンクが傾きますので半分くらいになると燃料が送れなくなります。傾斜地でのストップになると体と機械の安全を確保しての燃料補給ですから一苦勞です。また木津川堤防は葛が激しく繁茂しやすいところが非常に多くて、ハンマーモアの能力では手に負えない場所が各所にあります。こういうところは通常 90 cm 幅で進むのですが半分の負荷になるように工夫しなければなりません。万一、葛が刈り刃軸に絡みつくと、取り除くのに 30 分程かかってしまいます。平地とは違い傾斜での作業はより大変で、作業員の皆さんは毎年の経験から現地の特徴を学んで来て頂いてるので大助かりです。

●木津川希少種生育調査管理 12 月 22 日に生育調査を実施

これまで長い間生育調査を継続していただいていた皆さん 6 名の皆さんが参加して最上流部分木津川市加茂町の小谷地区から生育状況の確認を行っていただきました。皆さんはかなりの年齢に達しておられて毎月 24 km 35 ヶ所の確認作業は無理だとの意見が出されてきています。こうした意見から 11 月の調査が全員揃っての調査は最終回になるのではないかと思います。これから木津川出張所の管轄範囲の最南端まで出かけるチャンスはないかもしれないと考えられると感慨深いものがありました。

●第 2 回目 鮎の流下仔魚の調査 11 月 18 日(土) さくらであい館

三川合流部（桂川・宇治川・木津川）の御幸橋を使って、さくらであい館をメイン会場にして「鮎の流下仔魚の調査」の第 2 回目が 11 月 18 日(土)に行われました。里山の会から参加したのは太田、杉本、寺村さん親子の合計 6 名で、出席者は約 20 人でした。第 1 回目の調査活動日もかなりきつい寒さの中での活動でしたが、今回はこの冬の中でもこれまでで最も厳しい冷え込みで風も非常に強くて寒い環境でした。それでも参加者の皆さんは 20 人も集まってこられて元気に頑張っておられました。里山の会の皆さんは木津川を担当されました。これまでと同じく 6 時から 11 時まで 1 時間ごとの調査でしたが、今回は 5 回の調査では全ての回でアユの仔魚は一匹も見つからず、厳しい結果になりました。これまで竹門先生の右手であった藤林さんも予想されない結果なので、と言って応援に来られましたが、見つけることは出来ませんでした。木津川での発見ができなかったのは初めての出来事だったそうです。この日は宇治川で 9 匹が見つかったのみで、桂川では 2 匹が死体で見つかったという結果でした。これまでになく厳しい結果でした。寒い中頑張ってくれた寺村さんのご家族も本当にご苦勞様でした。これにこりず今後もご参加よろしくお願いします。

●大和川ネットワークの皆さんとの交流会に参加してきました。11 月 19 日 大阪府柏原市

大和川河川事務所は新しく建設されてオープンまもなく、市民の皆さんが庁舎前の広場の借用をお願いに行くと快く許可をいただいて、住民の意向も反映させてくれる広場にしてくださいとの要望があり始まったそうです。この日は日曜日にもかかわらず、山羊の放牧で河川敷の除草を担当されていて人気でした。また庁舎前の広場にテントが立てられてご近所（近鉄国分駅前の商店の皆さん）の方々が出店をされていてにぎわっていました。庁舎の建物の玄関（フロアー・ロビー）は大和川の説明や子供向けの絵本や座布団が用意されていて、市民が自由にくつろぐ休憩学習できるように広く大きく展開されていて、これまでの役所のような雰囲気は全くない敷居が取り除かれていました。私が知っている淀川河川事務所とは似ても似つかない作り方になっていました。ここで学んだことは①やる気、②聞く気 ③する気の 3 つを強く学びました。何よりも所長さんが先頭に立って職員や市民の声をよく聞いて、それを職員が一丸になって

力を合わせ、実現に努力されていること。そして市民が自分たちの要求実現に向かって一生懸命にやっている事を学びました。この取り組みに事務所側から市民に年間 80 万円の受注されいることを少し耳にさせて頂きました。これからまだまだ苦労が予想されますが、きっと素晴らしい活動に発展されると思います。期待したいと思いました。

余談になりますが、木津川出張所の所長さんであった堂下さんはここに転勤されていました。また前所長の白波瀬さんは東京本省に 1 年の勤務で転勤中だとのことでした。一番お世話になったのか淀川事務所の環境課課長であった「稲垣」氏がおられて沢山説明をいただきました。中聖牛の最初の取組に木津川の現場で河川敷を踏破して通路実現に尽力いただきました。彼が踏破してくれて現場の苦労が反映されて今日の姿があるものだと思います。

●尾根筋ハイキングコースの年末清掃をお願いします 今年 12 月 10 に実施

ここしばらく 12 月最初の日曜日（今年 3 日）に実行してきましたが、これまで毎年参加していただいた皆さんの都合が折り合わず第 2 日曜日（10 日）に変更しました。この取り組みは地元高船区から地元迷惑をかけるのだから年に一度くらい清掃作業を行うべきとの合意のもとに開通以来実行してきました。これまで主力として活動協力など大きな推進力を果たしていただいた皆さんのご都合を取り入れて実施日を変更いたしました。よろしくご協力をお願いします。

もう一つ今回同志社大学サッカー部のボランティアの有志が駆けつけて下さるとのことです。里山の会は木津川希少種生育調査のうち除草作業として管理地 16000 m² の刈り草を収集する作業をお願いすることになっています。全長 24 km に 35 ヶ所に分散しての作業になりますのでこの日は全理事が分担をしなければなりません。そして学生さんを現地へ送迎も担当することになる大事業の当日ですのでご協力をお願いいたします。

●第 4 回 イタセンパラの復活を目指す会 12 月 16 日(土) 15:00~17:00 田辺社会福祉センターで開催

●冬の昆虫観察会 オオムラサキの幼虫探し 参加者募集 12 月 16 日(土) 10:00~ 里山農園
後日掲載のホームページの申し込みフォームより受付いたします。



●パソコン教室を開いています

年の瀬となってきました年賀状作成の時期です。製作して印刷も格安で可能です。毎週木曜日 10 時から里山の会事務所で取り組んでいます。自分のパソコンを持ち込んでおいでください。お持ちでない方にも 1~2 台は用意出来ます。電話や FAX でお知らせください。その他、名刺なども簡単に印刷できます。初心者大歓迎 電話 0774-64-4183 (fax 兼用)

●年末恒例のしめ縄づくり 参加者募集 12 月 24 日(日) 9:30~12:00 里山農園

参加料無料 例年多数の方が参加されています。今年は講師も強化されますので期待できます。



●12 月 10 日 京都府立植物園の隣にある 歴探館 10:00 から「京都の自然は面白い」講演会が開催されます。里山の会理事長代理の光田重幸さんや雲ヶ畑の西野さんが講演をされます。また生物多様性センター長の湯本貴和さん(9 月 2 日にせせらぎで講演していただいた)もお話されます。こぞってご参加ください。地下鉄北山駅下車すぐです。